

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名称	茅野市博物館協議会専門部会		
開催日時	24年7月26日（木） 午後6時00分～午後8時00分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 研究室		
出席者	沖野部会長 北澤副部会長 石森委員 岡本委員 小池委員 茅野委員 名取委員 花里委員 両角委員 小池生涯学習部長 鶴飼文化財課長 若宮八ヶ岳総合博物館長 大谷博物館係長 柳川博物館係主査		
欠席者	浜委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	1人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
小池生涯学習部長	1 開会（博物館係長）  2 教育長挨拶 牛山教育長は姉妹都市の旭市が来市しており、その歓迎会のために出席できないので代理で挨拶する。 昨年度2つあった専門部会が一つになった。今年度から来年度にかけて基本計画を審議していただくが、昨年度は、理想の意見を出してもらったため、今年度は取舍選択し、現実可能な形になるように審議していただきたい。そのため、何回か会議をお願いしたい。茅野市はパートナーシップのまちづくりにもとづいて街づくりを行っている。この視点で、総合博物館の展示替えと茅野市の科学教育の振興について審議してもらいたい。市長が大変関心を示しており良いものを作りたいと6月の議会で述べている。  3 委嘱書交付 委員に生涯学習部長から委嘱書を交付  4 委員・職員の自己紹介  5 部会長・副部会長の選出 互選により、部会長 沖野委員 副部会長 北澤委員となった。  6 諮問にいたる経緯について 資料により八ヶ岳総合博物館から諮問に至る経緯について説明  7 諮問 資料により八ヶ岳総合博物館から諮問の説明		
石森委員	展示替え・科学教育センター建設について、実行可能な計画にしていく		

	には何年かかるか。
鵜飼文化財課長	総合的な調整を庁内で行わなければならないので、来年度に基本計画を策定していきたい。
若宮八ヶ岳総合博物館長	来年度は市民を交えての博物館づくりの話し合いも企画し、市民の意見も取り入れていきたい。また、コンサルタントも含めながら、平成26年度以降に基本設計と実施設計、そして着工、オープンできるようにしていきたい。
花里委員	諮問文に「ヒト」とあるが、片仮名だと、動物の分類上の意味になってしまうので違和感がある。漢字表記の方が適当ではないか。
大谷博物館係長	昨年度の答申の中で「ヒト」と表記しているところから、転記されている。
岡本委員	小池生涯学習部長の挨拶の中で、昨年度の審議の内容を取捨選択してとあったが、取捨選択というキーワードで整理して審議していったのか。
小池生涯学習部長	財政当局と調整しながら考えていかなければならない。審議の状況によっては、途中でも事務局が財政と話をしながら、また、専門部会に財政当局との話を報告しながら審議を進めていきたい。
	その他、委員から特に質問、意見等はなかった。
	8 今後の予定について
若宮八ヶ岳総合博物館長	今後の専門部会の審議はおおよそ20日間隔で行ってきたい。全9回の予定で行いたい。2・3回は展示について。4・5回は科学教育センターについて。6・7回は学芸員制度などの市民参加活動について。8回は、魅力ある良い博物館にするにはどのようにしたらよいか。9回は、現在八ヶ岳岳麓文芸館が仮に特別展示室に設置されているが、平成12年前に設置されて以降、新たに八ヶ岳岳麓文芸館を建設するという話は出ていない。この八ヶ岳岳麓文芸館を新たに増設するのか、また、現在の展示室で一コーナーとして設けるのか。また、機織りについてだが、ロビーで活動するには、様々な支障がある。風土産業作業棟を作るという話もあるが、場所をどうしたら良いのか審議していただきたい。
	平成25年1月には検討を終了し、2月には博物館協議会に上げていただき、博物館協議会より答申していただきたい。
	2・3回では自然観察園に関するイメージも示していただきたい。博物館建設時には自然植物園も設置するという計画もあった。また、展示替えについては、現在のジオラマを活かしながら、新知見を加えてということで行いたい。
沖野部会長	2か月に3回、1月までに9回ということか。結構きつい日程である。昨年度に論議されているので、まあ大丈夫だと思われるが、進行によっては次年度にずれ込むかもしれない。昨年度作成した絵を参考にして進めていければスムーズに進行していけるのでは。
岡本委員	昨年度の答申と予算との関係について。昨年度の答申の内容を取捨選択するとして、概算データがわかるのかどうか。わからないと、取捨選択するにも難しいと思う。
鵜飼文化財課長	事務局からも、折に触れて、財政当局と調整し、それをお示しながら、

沖野部会長	審議をしていきたい。 八ヶ岳岳麓文芸館は展示室内でということか。それとも、増設・移設するということか。
若宮八ヶ岳総合博物館長	館内のどこかに増設もありえる。場所は現状の特別展示室でもよいが、その場合特別展示室をどこかに作るということもある。過去には八ヶ岳岳麓文芸館をどこか別のところへ作るということで仮にここへ設置されたが、その後他所へ移すという議論がなかった。このまま続くのであれば中途半端な形ではなく、八ヶ岳総合博物館の一分野として位置付けていきたい。八ヶ岳岳麓文芸館をもっと大きく、他へ作りたいという議論が起こってきたらその時にまた移設を考えればよい。このことは先の博物館協議会で了承された。
沖野部会長	昨年度の審議では収蔵庫が問題となっていたが。
若宮八ヶ岳総合博物館長	今回の審議で、自然系の収蔵庫の増設も検討してほしい。現在の収蔵庫は、自然系の標本などと人文系の民具などが混在している。現在の収蔵庫の性質から人文系と文芸を主体に収蔵していきたいので、新規に自然系専門の収蔵庫を設置することになればよいのではないだろうか。
茅野委員	現在のジオラマを活かすとすれば制約されるのではないか。
若宮八ヶ岳総合博物館長	データや学説が変わっているところは直し、その上に昨年度の答申内容を加味し、既存のものも活かせるところは活かしていきたい。
茅野委員	昆虫類の展示ところは、もう少し展示を増やせないかなど問題があった。
若宮八ヶ岳総合博物館長	どうしても既存のジオラマを活かせないならば、全て展示替えを行うということも考えられるが、現在の展示の活かせるところは活かしたい。
北澤副部会長	特別展示室の性格をはっきりさせといたほうがよいのではないか。昨年度の審議では科学教育センターを増設する話があった。増設するかしないかでずいぶん議論が変わる。
鵜飼文化財課長	事務局としてはある程度空間を増設する方向で考えている。人文系は手をつけないという方向である。自然系は科学教育センターで資料展示をすれば、現在の展示を補えるのではないか。
石野委員	展示替えについての前提条件は何か。
沖野部会長	八ヶ岳総合博物館から前提条件の提示があった方が議論が進めやすいと思う。
石野委員	何年に科学教育センターが開館する予定か。開館までに、展示替えや市民活動が行えるか。
鵜飼文化財課長	平成28・29年に開館予定である。開館以前に八ヶ岳総合博物館で、市民学芸員の成果などを反映した展示替えなども行っていきたい。
	その他、委員から特に質問、意見等はなく、次回からまずは展示の更新を議題に審議を進めることで了承された。
	9 次回開催予定
沖野部会長	8月23日（木）午後6時からいかがか。
岡本委員	次回の審議の前に、常設展示を見て問題点を確認した方が、議論が進むのではないか。
若宮八ヶ岳総合博物館長	午後5時30分から開始したらどうか。

物館長

その他、委員から特に質問、意見等はなく、次回日程について了承された。

10 事務連絡

「報酬・旅費の銀行振込口座等の届け出書の記入について」の説明

11 その他

特別展「きみのみらい・みらいのきみーかこさとしと探しにいこう、絵本の中へ」案内

～午後8時 終了～